

江津地域の今後の県立高校の在り方について

1 これまでの経緯

6月議会	「基本的な方針（案）」を説明
6月30日	江津市説明（市長・副市長・教育長）
7月5日	江津高校関係者説明会
11日	江津工業高校関係者説明会
15日	地域説明会
8月9日	島根県総合教育審議会への諮問
上旬	産業界（商工会議所・商工会）からの意見聴取
9月13日	第2回島根県総合教育審議会
10月6日	第3回島根県総合教育審議会
17日	第4回島根県総合教育審議会
19日	島根県総合教育審議会からの答申
24日	パブリックコメント（11月23日まで）
12月26日	教育委員会会議で議決

2 基本的な方針

- ・ 江津地域の子どもたちの進路の選択肢の確保と、教育活動の充実を最優先に考え検討
- ・ 江津高校と江津工業高校を統合し、1学年120人規模の新たな魅力ある高校を設置
- ・ 江津高校が築いてきた地域連携による進学を念頭においた学びを継承
- ・ 江津工業高校の伝統を生かすとともに、県西部の工業教育へのニーズに対応できるように、工業教育の更なる魅力化を検討
- ・ 学科名、コース名、教育の具体的な内容については、地域の意見を丁寧に聴取しながら検討
- ・ 地域や地元教育機関等と連携し、探究的な学びを生かした魅力ある教育を展開
- ・ 工業教育の実習施設・設備が必要であることから、新設校は江津工業高校の場所を念頭
- ・ 開校する時期は、教育課程の検討と、それを踏まえた施設整備のため、令和10年度前後を想定
- ・ 開校までの間、または開校後であっても、地域や社会のニーズを捉え、時代にあった魅力ある学びとなるよう柔軟に対応し、必要があれば方針等を見直す

<新設校のイメージ>

想定される学び		1学年当たりの学級数	
進学を念頭に置いた 普通科系の学び	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進学をめざすコース(文・理) ・ 地域課題を探究し進学をめざすコース ・ 看護・栄養・保育などの資格職をめざす進学コース 	2学級 (60)	2学科 4学級 (120)
工業科	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機械系 ・ 電気系 ・ 建築土木系 	2学級 (60)	

3 今後のスケジュール

令和6年2月 新設校開校準備委員会設置 (別紙)

新設校開校準備委員会の設置について

1 目的

新設校の開校準備に関する業務を適切に行うために新設校開校準備委員会(以下「準備委員会」という。)を設置する。

2 開校までのスケジュール(目安)

年度		R 5 (2023)	R 6 (2024)	R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 9 (2027)	R 10 (2028)	
		I 期 (教育内容、施設整備について検討)			II 期 (校内体制検討、施設整備)			
開校準備	学校		準備委員会設置・開校準備				生徒募集 入学者選抜	開校
	県教委事務局		施設整備の基本構想・基本設計、実施設計・工事					
			関係機関との調整					

3 準備委員会の概要

(1) 検討事項

- ① 新設校の学校運営の基本方針に関すること
- ② 新設校への円滑な移行に関すること
- ③ 新設校の開校に必要な調査及び情報収集に関すること
- ④ 新設校の施設及び設備等に関すること
- ⑤ 関係機関との連絡調整に関すること

(2) 構成

① 本会議

上記(1)について検討

<構成員>

- ・ 学校関係：江津高校及び江津工業高校の学校長、事務長、教頭、主幹教諭
- ・ 教育庁：教育施設課長、教育指導課長、保健体育課長、社会教育課長
- ・ 事務局：学校企画課長、県立学校改革推進室長
- ・ オブザーバー：GO▶GOTSU コンソーシアム、両校学校運営協議会

② 開校プロジェクトチーム

個別事項を検討し企画立案

<構成員>

- ・ 江津高校、江津工業高校の教職員のうち、それぞれの学校長が選任した者。ただし、必要に応じて両校教職員から適宜加えることができる。
(両校の教頭は、開校プロジェクトチームの会務を総括し、本会議との連絡調整にあたる)

4 設置の時期

令和6年2月